

埼玉県議会議員

無所属 39歳

ふ み ひ と

すがわら文仁

4年間の成果と評価

戸田市選出の県議会議員として
取り組んできた「成果」の一端と
公約に対する自分なりの「評価」をお示しします
四年間、どう働いたのかの「まとめ」をご覧いただき
皆さんの率直なご意見をお聞かせ下さい

私は、これからも
しがらみのない立場を貫き
志を高く保ち
政策本位で成果を出すことにこだわります
懸命に働く現役世代、幸せを願うシニアの方々
そして、未来を夢描く子どもたち
一人ひとりの「願い」と「未来」のために
全身全霊を込めて挑戦を続けてまいります

「やればできる。」
この言葉を信じて政治の世界に飛び込みました
埼玉県議会は県民720万人の意思決定の場であり
意見も方向性も多種多様で一筋縄にはいきません
しかし、私は
一人ひとりの声なき声に
一つひとつ真剣に向き合い
魂を込めて県政に取り組んでまいりました
そして、政策を
一歩二歩と前に進めることができました



選挙の前だけではありません。

駅頭活動800日以上!

10年前から継続して駅頭活動を行っています。コツコツ続けて800日を越えました。



レポート配布126万枚!

県が何をやっているのかわからない。そんな声に応えるべく、年間約5回の議会報告を市内全域に配布しています。



政務活動費全面公開!

政務活動費の収支報告書を毎年、全戸配布とホームページで公開しています。



政務活動の見える化!

レポートの「本人の一日日記」や、フェイスブック、ツイッターを通じて本人の普段の活動を見えるようにしています。



調査なくして発言なし!

初心を忘れずに徹底して現場主義を貫いています。政治の課題は議場にはありません。



政策提言を成果に繋げる!

政策という手段を通じて暮らしの課題一つひとつの解決に繋がってまいりました。その一端は次のページをご覧ください。



伝えましょう!

見せましょう!

やりましょう!



菅原文仁プロフィール

【略歴】昭和50年7月30日生まれ(39歳)
戸田市立美谷本小学校・美笹中学校卒 埼玉県立伊奈学園総合高校卒 日本体育大学卒(教員免許取得) 明治大学大学院修了(公共政策学修士)
元社会体育会代表
【政治歴】平成17~23年 戸田市議会議員(2期)
平成23年 県議会議員に当選(1期)~現在に至る
【所属】会派「刷新の会」幹事長代理 青年地方議員の会副会長 埼玉県体操協会副会長 埼玉坂本龍馬会幹事 日本自治体危機管理学会会員
【趣味】読書 史跡巡り B級グルメ探し【特技】バク転 のび太並みの早寝【座右の銘】上杉鷹山公の「なせば成る、なさねば成らぬ、何事も」
【家族】父・母・妻・娘(2歳)・息子(0歳)・犬1匹
【夢】努力した者が報われる社会を実現すること

発行者:埼玉県議会議員 菅原文仁
事務所:戸田市本町1-21-8-1F TEL:432-3585
自宅:戸田市美女木8-21-6
Email:mail@sugawarafumihito.com

すがわら文仁4年間の成果

2011
1年目

子育て支援

深夜の時間帯にもつながる小児救急電話相談(#8000)を実現しました。

課題

夜中に子供が急な病気や怪我の時、相談する相手がいない!困った!



小児救急電話相談の時間帯は19時～23時。夜中こそ相談したいはずでは?

すがわらの取組

H23年9月 一般質問
医療の充実について



「核家族率日本一の埼玉県だからこそ相談時間を朝まで延長すべき。」

成果

H24年7月 実現!



相談時間が深夜23時から翌朝7時まで拡大!(予算額2,455万円)

今後

深夜の保護者の不安を解消し、不必要な受診の抑制を促すことを意図して提案しました。
今後は電話回線の更なる増強、救急出動の抑制、救急医師の負担軽減なども課題となりますが、これからも子育て世代の代表として、さらなる環境の改善に取り組みます!



震災事故対応

「放射性物質から県民を守る決議」を提案して可決しました。

取組 H23年6月 放射性物質対策

除染など徹底的に推進する決議文を作成し議会に提出。

成果 H23年6月 可決!

決議が可決され、県の放射性物質除への対策がさらに加速!

下水処理場にまだ残る含有灰の処分を早期に進めます。



医師不足解消

「県外医学生に対する奨学金の貸与制度」が実現しました。(予算2,900万円)

取組 H23年9月 一般質問 医療の充実

医師を確保するために県外にも奨学金の別枠を設けるべきと提案。

成果 H24年度 事業化!

毎年5名の県外医学奨学生が増加して医師不足の解消を推進!

医療の地域偏在解消に向けあらゆる医療政策を進めます。



災害対策

各種ハザードマップ※を整備する市町村を大幅に増やしました。

取組 H23年9月 一般質問 危機管理

県内の総点検と作成支援、情報の一元管理をすべきと主張。

成果 H23年 一元管理に!

ハザードマップ作成市町村数(埼玉県内)

	23年度	26年度
地震	60	全市町村
液状化	49	51
土砂災害	7	16
内水	7	32

マップを活用した防災訓練など防災力の強化を進めます。

10月1日 医師不足解消

10月1日 緑の事業

10月30日 テレ玉出演

10月1日 災害ハザードマップ

「私大誘致は可能」知事、代答に言及

緑の事業に維持管理費を

2011 メディア掲載!

※自然災害による被害を予測して被害範囲を地図化したもの。利用することにより災害発生時に住民は迅速・的確に避難を行うことができ被害低減に非常に有効なツール。

2012
2年目

環境問題

生活排水処理施設(浄化槽)の管理状況の改善を促し、着実に改善しています。

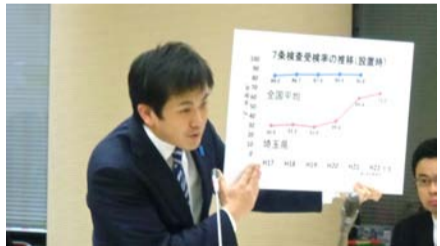
課題

県内の河川水質(中川・綾瀬川)は全国ワースト1位と2位。県内の河川水質の改善が急務!

県の浄化槽の法定検査率は全国44位。原因の一つは浄化槽の法定検査率にあるのでは?

すがわらの取組

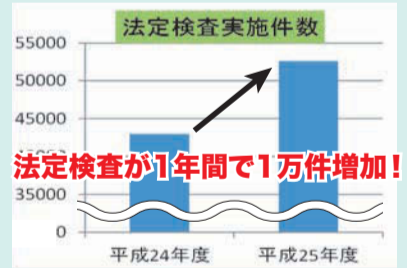
H24年2月 予算委員会
浄化槽の管理について



「県内の浄化槽の検査率を向上させて、清掃や保守点検を把握すべき。」

成果

平成25年度 大幅改善!
県内市町村等に対する指導が強化。法定検査実施件数が大幅に改善!



今後

県内河川の水質改善にむけて提案しました。
今後は法定検査受診率の更なる向上はもとより、単独浄化槽を合併浄化槽への転換や市町村による新たな管理方式の導入が課題です。これからも効果の高い河川環境改善策を提言し続けます!



災害対策

「業務継続計画支援事業※」が実現しました。(予算額400万円)

取組 H23年9月 一般質問 危機管理

県内で計画策定している自治体がないので県が計画策定を支援すべきと提案。

成果 H24年度 事業化!

支援事業は1年で終了したがH26年度末に策定予定の自治体は53に増加!

情報システムの業務継続計画の推進など危機管理体制を着実に推進します。



国際交流

埼玉県と台湾の交流のため「日台友好議員連盟」設立を実現しました。

取組 H24年9月 視察 台湾自費視察

地方議員団で訪台し李登輝氏と懇談。「埼玉県と台湾を繋げます」と約束。

成果 H24年12月 議連発足!

県議45名に働きかけて友好議連が結成。以降、台湾との交流が活発化!

産業交流、教育交流、観光交流に結び付けます。



教育問題

県立高校の体育祭でしっかり国旗掲揚をするよう促し、実施されました。

取組 H23年9月 一般質問 教育問題

国旗だけ掲揚されないのは違和感があるのでしっかり掲げるべきと提案。

成果 H24年度から改善!

学校判断により次年度の体育祭からは国旗の掲揚が実施!

国を愛し郷土に誇りがもてるような心を育てる教育を推進します。

2012年 メディア掲載!

2月10日 テレ玉出演

3月7日 浄化槽維持管理

菅原文仁氏(刷新の会)

浄化槽の法定検査受診率が全国平均と比べて厳しい状況。向上させるべく、国平均と同等以上に検査率を向上させる。上野知事、県内570の浄化槽の維持・管理、設置を徹底する。一川の再生にも熱心に取り組む。

※大規模災害時においても行政機能、行政活動を継続するため、事前に必要な資源の再配分や対応方針、手段を定める計画。

もっと詳しい内容はホームページをご覧ください! <http://sugawarafumihito.com>

2013
3年目

行政改革

公務員の多すぎる時間外勤務と青天井の残業代を削減しました。

課題

菅原の質問で教育局職員が時間外勤務を1485時間行い残業代だけで513万円貰っていた事が明らかに。



公務員の残業代は青天井。だからこそ厳しい時間外勤務への指導が必要では?

すがわらの取組

H24年度 決算委員会
教育委員会審議



「時間外勤務が一部の職員に偏らないよう適正な勤務管理に努めるべき。」

成果

平成25年度 大幅削減!

▼職員時間外勤務手当

	H24年度	H25年度
総支給額	2億8,847万円	2億5,639万円 3,207万円減!
最高支給額	513万円	283万円 230万円減!
最長時間	1,485時間	906時間 579時間減!

質問が新聞に掲載され注目を浴び、支給額、最長時間ともに大幅な改善が実現!

今後

公務員の人件費は貴重な税金であり、労務管理上も時間外勤務の短縮とワークシェアが求められています。今後は長時間労働の更なる是正とともに、ワークライフバランスの推進なども課題です。より一層、ムダ削減と効率的な行政運営を求めてまいります!



母子感染予防

県内全域に抗体検査が行われていない母子感染※の注意喚起を実現しました。

取組 H25年2月 母子感染対策

母子感染の正しい予防知識をすべての妊婦に周知徹底すべきと提案。

成果 H25年4月 実施!

H26年度の母子手帳から母子感染防止関連情報3ページ分が追記される!

母と子の健康を守るためにできることを全力で進めます。



人権教育

北朝鮮拉致問題を人権教育として県内561校で活かすことを実現しました。

取組 H24年度 教育委員会審査

県内の全校で拉致問題啓発アニメ「めぐみ」をさらに活用すべきと提案。

成果 H25年度 増加!

人権教育の題材として拉致問題を取り上げる学校が72校増加し561校で実施!

全ての学校で拉致問題の理解を深める取組を進めます。



災害対策

県独自の「被災者安心支援制度」が実現しました。(予算額1億560万円)

取組 H25年9月 会派緊急要望

竜巻被害で露呈した国の制度の不備を補う独自の制度を創設すべきと知事に要望。

成果 H26年度 事業化!

国の制度で救済されない被災者への支援金と家賃給付を補償する制度が実現!

地域によって不均衡が生じる国の制度改善も求めてまいります。

※妊婦健診での公費負担のない感染症としてトキソプラズマ症やサイトメガロウイルス感染症があります。

2013 メディア掲載!

3月1日 高校入試

3月1日 東京五輪

残業代だけで513万円

165時間の時間外勤務

11月3日 職員残業代

2014
4年目

医療・介護

遠くに行かなくてもリハビリテーション医療が受けられる仕組みをつくりました。

課題

高齢化社会におけるリハビリテーション医療の需要は急拡大。



医療の地域偏在が著しい埼玉県ではリハビリ医療と介護等の連携体制がないのでは?

すがわらの取組

H25年2月 一般質問
保健医療の充実について



「地域で安心してリハビリテーション医療を受けられるよう県で支援体制を構築すべき。」

成果

平成26年4月 事業化!

「地域リハビリテーション支援体制整備事業」が実現!(初年度予算額392万円)



今後

リハビリテーション医療に関わる資源の効率的な運用体制をつくるために提案しました。今後はすべての医療圏でのサポート体制構築や市町村との連携強化をはかり、誰もが自立して生活を継続できる体制整備を進めてまいります!



安心・安全

県警に24時間DV・ストーカー対策を行う体制が実現しました。

取組 H24年度 改善事項

さらに相談しやすい環境や安全を確認する体制を構築すべきと提言。

成果 H26年4月 新設!

「人身安全初動指揮本部」新設により事案対応件数と出動件数が増加して未然防止に!

さらなる警察人員の確保と未然防止を進めます。



産業支援

企業の使用水量に見合った料金体系へと制度を改革しました。

取組 H26年6月 工業用水道

節水しても料金が変わらない制度は見直し企業努力に応える制度にすべきと提案。

成果 H26年11月 開始!

「料金制度検討意見交換会」が開催。新料金体制に向けた具体的な議論がスタート!

新料金制度では事業の効率化による料金の引き下げを進めます。



財政健全化

「債権の適正な管理に関する条例」が実現しました。

取組 H24-26年度 企画財政部

滞納により不良化する未収債権を適正化して回収業務を効率化すべきと要望。

成果 H26年度4月 施行!

条例施行により未収債権の効率的な縮減と徴収業務の適正化が実現!

さらに公正で責任ある財政運営を提案して改革を進めます。

真議選 新区割り可決

7月1日 自転車ナビライン

2014年 メディア掲載!

10月11日 埼玉県選挙区割り

2015年1月18日 テレ玉出演

戸田市

笹目川

子どもと遊べる多自然型の川岸と遊歩道の整備を実現しました。

課題

子供が自然に触れ合える機会が少ない現代、河川整備のあり方も変化。



北戸田駅周辺のまちづくりに合わせて、もっと子供が水辺に親しめる河川整備ができないか？

すがわらの取組

H23年9月 一般質問 笹目川の再生について



「従来型のコンクリート護岸の笹目川。水辺に親しめる新たな河川事業の検討を。」

成果

H24~27年度 事業化!



川のまるごと再生プロジェクトに笹目川が選定され事業開始!(予算額8億円)

今後

戸田市の子供たちが魚やザリガニを取って遊べるような水辺を願って提案しました。

H27年度末の整備完了に向けた課題を解決するとともに、今後は河川を守る市民参加の拡大と更なる水質の改善をはかってまいります!

オリンピック道路

戸田公園駅前の歩道のバリアフリー化延伸が実現しました。

取組 H23年9月 一般質問 県道練馬川口線

国道17号から戸田公園駅前まで連続性ある歩道整備をすべきと提案。

成果 H24年度から実現!

戸田公園駅西口周辺の県道がバリアフリー化され、快適な駅前歩道が実現!

バリアフリーや自転車レーン整備により市内県道の快適さをさらに進めます。

水循環センター

笹目側から上部公園にアクセスできる環境を提案し着実に進んでいます。

取組 H25年2月 一般質問 荒川水循環センター

地元住民の災害時の緊急避難場所としてアクセス道の設置を提案。

成果 H26年度 設計開始!

H29年度の公園全面供用開始に合わせて歩行者用スロープの設計が実現!

戸田市との協議を踏まえて県の協力を引出す努力を続けます。

県立戸田公園

県立戸田公園の新たな景観づくりを提案し着実に進んでいます。

取組 H26年6月 一般質問 県立戸田公園

北側ウッドデッキとエントランス広場の景観改善をすべきと提案。

成果 H26年度 検討開始!

市と県で戸田公園の整備のあり方や役割分担について検討開始!

市民の声も活かした素敵な公園になるよう働きかけます。



戸田市の課題解決にむけて

毎年、上田知事と直接協議する場を設けて、市内の諸課題について要望を行っております。

地元の課題を一つひとつ解決できるように、これからもあらゆる場を通じて働きかけを行ってまいります。

すがわら文仁4年間の 評価

2011年 県議会議員選挙 選挙公約 達成状況自己評価シート

公約の「できたこと」だけでなく、「できなかったこと」も正直にお示しして、皆様から率直なご批判やご激励を頂き、次の政策推進に繋げてまいりたいと思います。

Table with 5 columns: 項目 (Item), 施策 (Policy), 取組状況 (Implementation Status), 評価 (Evaluation), 達成状況 (Achievement Status). Rows include categories like Education, Healthcare, Welfare, Environment, Safety, Industry, and Fiscal Reform.

取組状況 【一般質問＝「一」、常任・特別・予算・決算委員会＝「委」、会派予算要望＝「要」、担当課などとの交渉＝「交」、議会としての取り組み＝「議」】

評価の基準 【取組みが具体的な成果につながった＝「◎」、取組みが改善につながった＝「○」、取組みが間接的な効果を生んだ＝「△」、取り組めていないか諸事情で断念＝「×」】